

どのような病院で診てもらえますか？

神経内科、精神科（心療内科、神経科など）を受診します。最近では「もの忘れ外来」として診療しているところもあります。

若年性認知症の治療方法は？

アルツハイマー病では、進行を緩やかにする治療薬が用いられます。現在日本で使われているのは「塩酸ドネペジル（アリセプト）」です。レビー小体型認知症にもこの薬が有効です。妄想、幻覚、興奮などの行動・心理症状は、良いケアで症状が改善されますし、抗精神病薬が効果的です。また、不安や睡眠障害には、抗不安薬や睡眠薬などが使われます。最近では漢方薬が使われることもあります。

若年性認知症と診断されたらその後は？

医療、介護、福祉の連携は欠かせません！生活に伴う不安を和らげるために、診断後は病院のソーシャルワーカーなど、具体的なアドバイスをもらえるような専門職に相談することが大切です。ソーシャルワーカーとは？患者の治療や経済的問題も含めた医療や生活にかかわる援助を行います。

# Q&A



認知症って治るのかしら？

若年性認知症ってどんなだろう？



若年性認知症と診断されたら働ける仕事はあるの？

なるほど



## 【社会参加としての福祉的就労】

障害者授産施設で働くという福祉的就労は、若年性認知症の方が仕事を続ける可能性の一つとして、今後期待されるものです。

身体の障害や、知的な遅れなどの障害であれば、障害者雇用促進法などの法律に基づき、障害者職業訓練コーディネーターやジョブコーチなど、職場と本人をつなぎ、訓練をする役割を持つ制度があり、それらを利用できます。しかし、若年性認知症ではそれらを利用した実績がほとんどありません。症状が徐々に進行していく認知症に関しては、まだこれからの課題といえます。

若年性認知症になる原因はどんなもの？

アルツハイマー病、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症、その他

若年性認知症の症状はどんなもの？

基本的な症状である中核症状（脳の障害が原因で起こる症状）と、それに伴う二次的な症状である行動・心理症状（心理的な原因などから起こる症状）とに分けることができます。

### 【中核症状】

新しい記憶から薄れていきます。時間や場所がわからなくなります。判断力、理解力、思考力などが低下していきます

### 【行動・心理症状（周辺症状）】

★徘徊 ★妄想 ★幻覚 ★不安・焦燥・抑うつ

介護保険制度の対象は？

介護保険制度では、介護サービスを利用したときは、かかった費用の1割を自己負担します。サービスを利用できるのは一般的には65歳からですが、認知症と診断された場合は、40歳から利用できます。現行では、39歳以下の人は対象とはなりません。